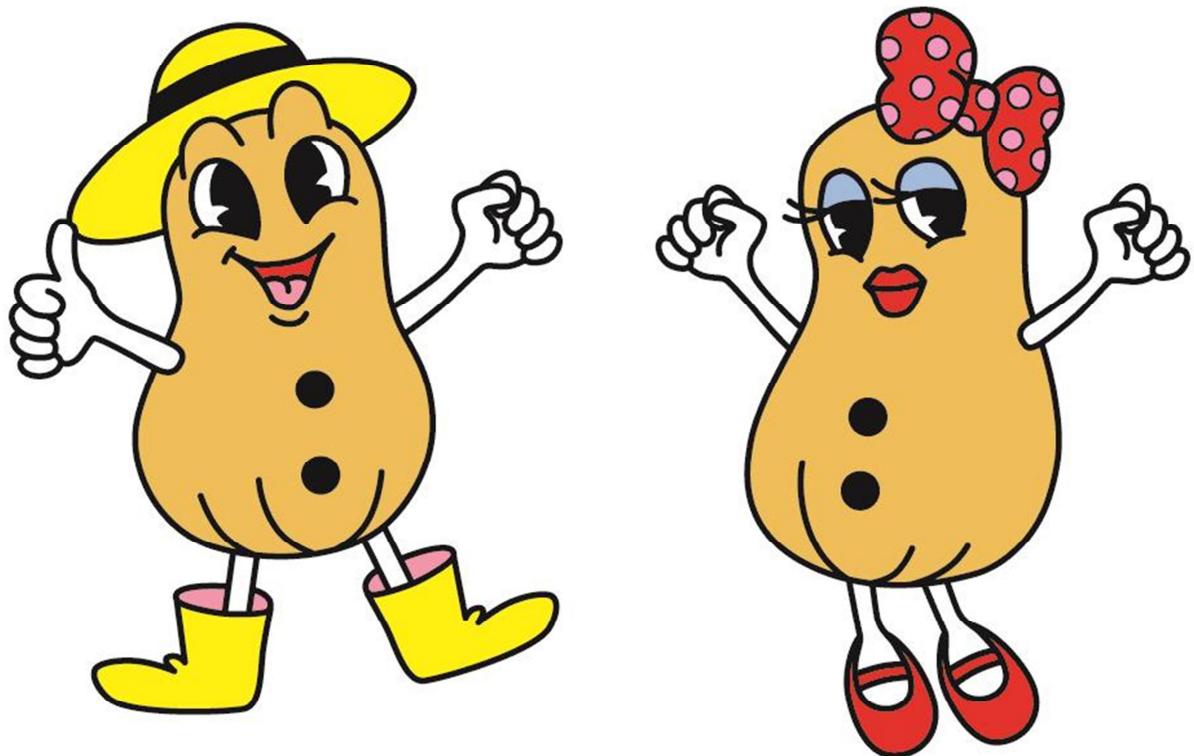


手話言語を学んでみよう



八街市役所福祉部障がい福祉課

☎ 043-443-1649

☎ 043-443-1742

✉ syogai@city.yachimata.lg.jp

手話は言語

言語は、音声、文字、手話等を使って人と人が意思や感情を伝え合う手段であり、また、論理や思考など知的活動の基礎となるものです。

手話言語は、音声とは異なる独自の文法体系を有し、手や指、表情などにより表現される目で見る言葉です。

日本語や英語といった言語があるように国や地域によって、使用される手話言語は異なります。また、日本語に方言があるように、手話言語には地域それぞれの方言があります。

手話言語の特徴

手話言語は、手の形、位置、動きの方向や大きさ、顔の表情やからだの動きを使って意味を表します。

手話言語で話しをする時は、手話独自の文法を使って表現しますが、話しことばの順番で単語をつなぎ表現することもあります。

例

おいしい

右手の手のひらを右側のほおにつけて、
2~3回軽くたたきます。



おいしい



おいしい!



わあっ、おいしい!

手話は表情豊かに表現をします。
一つの手話単語でも、
表情によって多様なことばの
意味を表します。

聴覚障がい者とのコミュニケーション方法、いろいろ

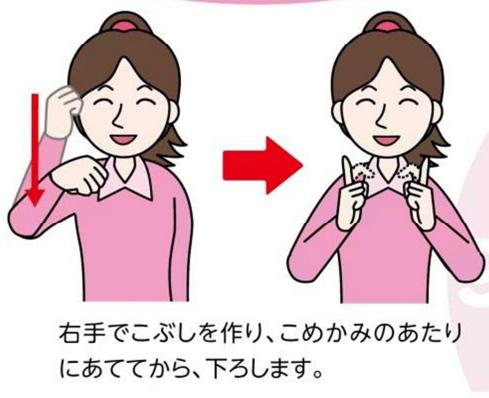
聴覚障がいは、聴力に関する障がいのことです。全く聞こえない人から補聴器をつければ少し会話が聞き取れる人まで、聴覚障がいの状況は人によって様々です。

聴覚障がい者とのコミュニケーション方法は手話言語以外にも、筆談や、空書き、指文字などがあります。

また、盲ろう者（見えない・聞こえない2つの障がいが重複している人）には、触手話や指点字でコミュニケーションを取るなど聴覚障がいの特性にあったコミュニケーション方法を使用します。

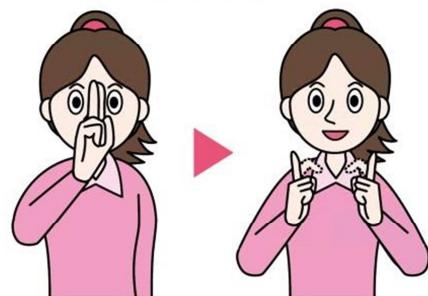
基本的な手話を表現してみましょう

おはようございます！



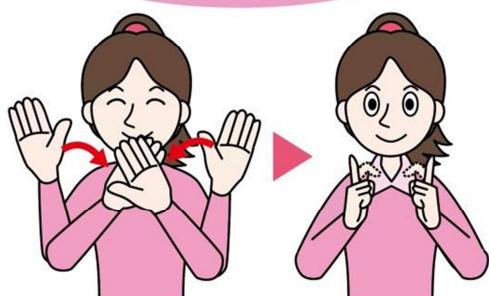
右手でこぶしを作り、こめかみのあたりにあててから、下ろします。

こんにちは



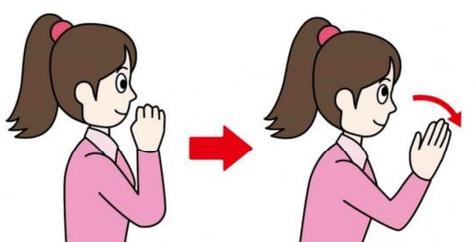
右手の人差し指と中指を立て、人差し指側をひたいにあてます。

こんばんは！



手のひらを前に向けた両手を、顔の前で左右から交差させます。

よろしくおねがいします。



右手のこぶしを鼻につけ、前に下げながら手を開く。こぶしを鼻につける「よい」と、手を下げる「お願い」で「よろしくお願ひします」となります。

右手の手のひらの小指側を下にして垂直にあげます。

ありがとう！



横からみたとき

おつかれさま！



右手のこぶしで左手の手首の甲側を2回たたきます。

八街市は、令和7年9月23日【手話の日】に『八街市手話言語条例』を施行しました。

条例の概要

条例の目的

手話言語が言語であることに対する理解及び普及促進に関する基本理念を定めるとともに、市の責務及び市民、事業者の役割を明らかにし、誰もが共生できる地域社会を実現することを目的としています。

条例の基本理念

手話言語が言語であることに対する理解及び普及促進は、手話言語を使う者が意思疎通を図る権利の下で、全ての市民が互いに人格及び個性を尊重し合うことを基本理念として行わなければなりません。

市の責務

市は、基本理念にのっとり、手話言語に対する理解及び普及促進並びに手話言語を使いやすい環境整備に関する施策を行います。また、手話言語を使う者が日常生活又は社会生活を営むために必要な合理的配慮を行います。

市民の役割

市民は、条例への理解を深めるとともに、市の施策に協力するよう努めます。

事業者の役割

事業者は、手話言語を使う者が必要とする合理的配慮を行うよう努めるとともに、誰もが共生できる地域社会実現のための活動並びに市の施策に協力するよう努めます。